

建設大臣賞

予讃線丸亀駅周辺市街地活性化事業

(表彰対象者：香川県善通寺土木事務所 丸亀市都市開発部)

表彰の理由

連続立体交差事業を中心市街地の活性化事業の中核事業に位置づけ、関連する他の事業を合わせて実施した実績とその総合力が評価されたものである。

事業のあらまし

この事業は瀬戸大橋及び四国横断自動車道の実現によって、新しい広域高速交通時代を迎えることから、これを展望した事業である。丸亀市の中心市街地を東西に横断するJR予讃線を連続立体交差化し、新しい時代に対応した交通結節機能とアメニティに富んだ駅前広場を整備した事業である。また駅周辺の再開発事業を進め、あわせて美術館等を整備し、駅周辺の活性化を図ったものである。

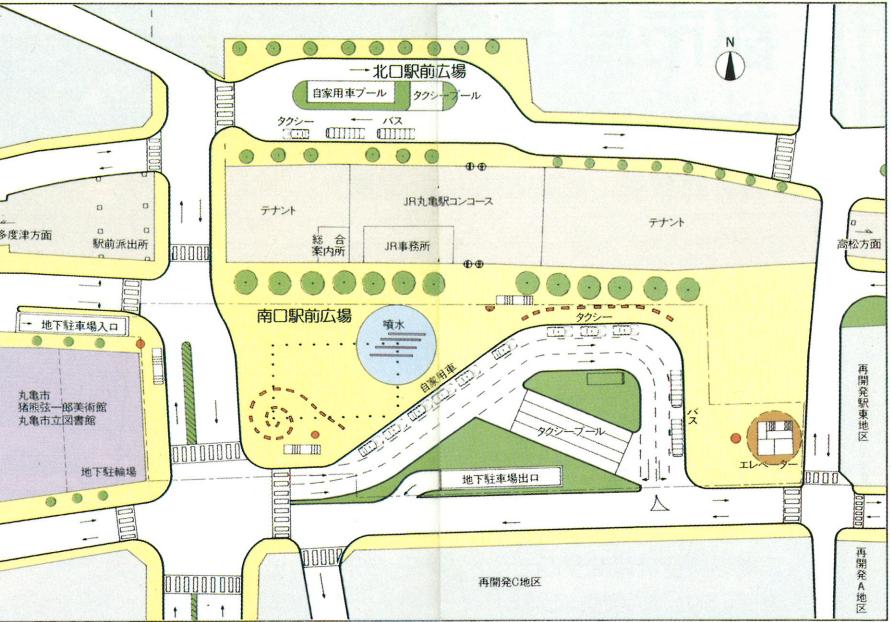
- 連立事業：2,748m
- 駅前広場：7,000m²
- 地下駐車場：263台
- 美術館・図書館：5,970m²
- 事業費：27,900百万円



新丸亀駅舎及び南口駅前広場（自動車交通を集約し、歩行者動線に配慮）。



旧丸亀駅舎及び駅前広場。



駅前広場配置図



高架下利用（駐輪場の設置）。



モニュメント（噴水及び擬石）。



新丸亀駅舎及び南口駅前広場
(間接照明を基本とし、幻想的な雰囲気を創りだした)。

事業遂行上の工夫

丸亀市の場合、連続立体交差、駅前広場、再開発事業等これらの組合せで構成されたものであるが、それらが付近一体となって一つのコミュニティスペースを構成し、丸亀市全体の新しい「顔」となるよう交通機能の確保に配慮し、地域の特性を生かした。

受賞者のコメント

「瀬戸大橋」という世界一大きな橋の架橋に合わせて、日本で一番小さな県「香川県」が精一杯に取り組んだ事業であります。今回の受賞を励みに「小さいけれども、まちづくりの香川県」と言われるように、がんばります。

香川県土木部都市計画課

丸亀市の永年の悲願であった、予讃線丸亀駅付近連続立体交差事業が平成元年に完成し、これを機に更に事業効果を高めるべく周辺市街地整備を引き続き実施しており、今回の受賞を励みに都市の活性化に向けて、なお一層の努力をする所存であります。

丸亀市都市開発部